

東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科

学校のウェブサイト http://www.nodai.ac.jp/academics/reg/regi_innova/
適用可能な級・部門 2級ビオトープ計画管理士・2級ビオトープ施工管理士

ビオトープ管理士資格試験 試験科目	左に該当する授業の名称
共通科目	
生態学	地域環境科学概論 地域環境論 農域植生学 野生動物と生息環境 里山生態学概論
ビオトープ論	地域環境科学概論 地域環境論 農域植生学 保全生態学 野生動物と生息環境 里山生態学概論
環境関連法	環境アセスメント論 環境修復論 野生動物と生息環境 環境教育学 地域環境科学概論 地域環境計画学 地域環境論 地域創成関連法規 農域物質循環論 農学概論 農村・都市交流論
専門科目	
計画部門	環境アセスメント論 景観生態学 野生動物と生息環境 共通演習 地域環境計画学 地域環境論 地域創成フィールド実習（一） 地域創成フィールド実習（二） 地域創成総合実習（一）
施工部門	環境修復論 環境植物学 地域創成総合実習（二） 共通演習 自然再生施工論 植栽技術論 地域創成フィールド実習（二） 土と水の科学

平成30年9月3日現在

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合には、この綴りの後ろにある『履修状況申告書』に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は、『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

ビオトープ管理士資格試験 履修状況申告書

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合は、この申告書に必要な事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

1. まず、以下の3項目に記入してください。

氏名	フリガナ
受験する部門	2級ビオトープ計画管理士 <small>この制度は、1級の受験には適用されません。</small>
卒業した日	東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 を 平成()年()月()日に卒業/卒業見込み <small>制度を適用できるのは、在校生と、卒業した日から受験申込日までの期間が5年未満の方までです。</small>

2. 次に、履修状況を確認します。

下に挙げた全ての授業(部門によって異なります)について、履修(単位取得)済みか、今年度内に履修済みの見込みであるかをそれぞれ確認し、授業の名称の左にある2つの欄のうち、該当する方に“○”印を記入してください。履修済み・見込みいずれの欄にも“○”の付いていない授業があった場合は「年度内に履修見済みの見込み」であるとして扱い、この制度を適用して受験していただきます。(当協会からは特段ご連絡はいたしません)なお、合格後には、学校が発行した授業の履修を証明する書類(履修証明書など)をお送りいただきます。

東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科

履修(単位取得)済み	年度内に履修(単位取得)見込み	授業の名称	ビオトープ管理士資格試験 試験科目での位置付け
		環境アセスメント論	環境関連法、計画部門
		環境修復論	環境関連法
		景観生態学	計画部門
		環境教育学	環境関連法
		共通演習	計画部門
		地域環境科学概論	生態学、ビオトープ論、環境関連法
		地域環境計画学	環境関連法、計画部門
		地域環境論	生態学、ビオトープ論、環境関連法、計画部門
		地域創成フィールド実習(一)	計画部門
		地域創成フィールド実習(二)	計画部門
		地域創成関連法規	環境関連法
		地域創成総合実習(一)	計画部門
		農域植生学	生態学、ビオトープ論
		農域物質循環論	環境関連法
		農学概論	環境関連法
		農村・都市交流論	環境関連法
		保全生態学	ビオトープ論
		野生動物と生息環境	生態学、ビオトープ論、環境関連法、計画部門
		里山生態学概論	生態学、ビオトープ論

↑いずれかに○を記入↑

平成30年9月3日現在

3. 最後に、以下を確認し、同意のうえ署名してください。(署名のない場合は「通常受験」とさせていただきます)

上に申告した履修状況については間違いありません。また、『受験の手引き』11ページ「一部免除認定校の学生・卒業生の受験(2級のみ)」および21ページ「履修状況申告書の記入について」に目を通し、これらを理解したとともに、その内容に同意します。

署名

ビオトープ管理士資格試験 履修状況申告書

「一部免除認定校の学生・卒業生の受験」の制度を適用する場合は、この申告書に必要事項を記入のうえ、受験申込関係書類としてお送りください。詳細は『ビオトープ管理士資格試験 受験の手引き』11ページおよび21ページをご覧ください。

1. まず、以下の3項目に記入してください。

氏名	フリガナ
受験する部門	2級ビオトープ施工管理士 <small style="float: right;">この制度は、1級の受験には適用されません。</small>
卒業した日	東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科 を 平成()年()月()日に卒業/卒業見込み <small style="float: right;">制度を適用できるのは、在校生と、卒業した日から受験申込日までの期間が5年未満の方までです。</small>

2. 次に、履修状況を確認します。

下に挙げた全ての授業(部門によって異なります)について、履修(単位取得)済みか、今年度内に履修済みの見込みであるかをそれぞれ確認し、授業の名称の左にある2つの欄のうち、該当する方に“○”印を記入してください。履修済み・見込みいずれの欄にも“○”の付いていない授業があった場合は「年度内に履修見済みの見込み」であるとして扱い、この制度を適用して受験していただきます。(当協会からは特段ご連絡はいたしません)
なお、合格後には、学校が発行した授業の履修を証明する書類(履修証明書など)をお送りいただきます。

東京農業大学 地域環境科学部 地域創成科学科

履修(単位取得)済み	年度内に履修(単位取得)見込み	授業の名称	ビオトープ管理士資格試験 試験科目での位置付け
		環境アセスメント論	環境関連法
		環境修復論	環境関連法、施工部門
		環境植物学	施工部門
		地域創成総合実習(二)	施工部門
		環境教育学	環境関連法
		共通演習	施工部門
		自然再生施工論	施工部門
		植栽技術論	施工部門
		地域環境科学概論	生態学、ビオトープ論、環境関連法
		地域環境計画学	環境関連法
		地域環境論	生態学、ビオトープ論、環境関連法
		地域創成フィールド実習(二)	施工部門
		地域創成関連法規	環境関連法
		土と水の科学	施工部門
		農域植生学	生態学、ビオトープ論
		農域物質循環論	環境関連法
		農学概論	環境関連法
		農村・都市交流論	環境関連法
		保全生態学	ビオトープ論
		野生動物と生息環境	生態学、ビオトープ論、環境関連法
		里山生態学概論	生態学、ビオトープ論

↑いずれかに○を記入↑

平成30年9月3日現在

3. 最後に、以下を確認し、同意のうえ署名してください。(署名のない場合は「通常受験」とさせていただきます)

上に申告した履修状況については間違いありません。また、『受験の手引き』11ページ「一部免除認定校の学生・卒業生の受験(2級のみ)」および21ページ「履修状況申告書の記入について」に目を通し、これらを理解したとともに、その内容に同意します。

署名